



楽しくて力のつく学校

石部小学校 校報 第101号

平成29(2017)年7月14日

電話:77-2030

FAX:77-6733

芝生苗植栽作業

ご協力ありがとうございました!

6月17日(土)に行いました芝生苗の植栽作業に、300名を超える多くの方々(児童、保護者、地域の方々、市職員の皆様、学校職員)にご参加いただきありがとうございました。

前々日の木曜日午後から市職員の方が、運動場に50cm四方の畚盤の目を引いてくださいました。翌日の金曜日は、最も大変な作業である苗を植えるための穴を約2万個以上空けるという作業を行いました。当初は、午後からの作業予定でしたが、あまりの数の多さに朝から作業を始めるように変更しました。(連絡ができず、ご迷惑をお掛けしました)

「朝早く目が覚めたので。」と6時頃から穴を掘っていた方々やほとんどの方が9時頃までには来ていただいて、約40名で穴あけ作業を行いました。空梅雨のため運動場が硬くなっており、大変苦勞して作業をしていただきました。皆様が一所懸命に作業をしていただいたお陰で、午前中で穴を空ける作業がほぼ終わりました。午後から来られる方のために少しだけ残して作業を終わりました。午後から来ていただいた方には、残った場所をしていただき、苗が届くのを待ちました。苗が届いてからは、25個ずつ入ったポット苗容器をトラックから順番に降ろして運動場に並べるという作業を行いました。午後3時頃には全ての作業を終えてスプリンクラーで運動場全体に水を撒きました。

17日当日は天候にも恵まれ、大変多くの方々に来ていただき、日本サッカー協会グリーンプロジェクト担当者:松木栄一郎様より作業の説明をしていただき、グループに分かれて植栽作業をしていただきました。苗をビニルポットから取り出す作業が思っていたよりも大変で、土が無くなってしまったり、時間がかかったりしましたが、各グループが協力していただき、無事作業を終えることができました。暑い中本当にありがとうございました。

苗の植栽作業から1週間。雨もあまり降らず、どんどん茶色になっていく芝生を見て「ダメか。全部植え直しや。」の声がする中、大丈夫きっと緑になってくれるという期待を持って2週間目の月曜日、朝学校へ行



《2万個以上の穴を空ける作業》



《苗を運動場に並べる作業》



《説明中の松木栄一郎様》

くと見違えるように緑になっている芝生。何とか根付いてくれたのかなと一安心。2回目の施肥を終えると益々成長していく様子が見られました。所々枯れてしまっている部分を補植し、緑一面の芝生に近付いています。7月15日は1回目の芝刈り作業日です。時間がありましたら見学においでください。緑一面芝生に覆われた9月をお楽しみにしてください。



《作業中のみなさん》



《4階から見た作業風景》



《終了後の集合写真》



《16日後の芝生の様子》



《23日後の芝生の様子》



《23日後の芝生の様子》



5年生防災訓練(起震車体験)

7月7日七夕の日に5年生が防災訓練の一環として起震車体験を行いました。始めに消防士の方から、地震が起こる原因や震度とマグニチュードの違いなど基本的なお話を聞いた後、実際に起こった地震(阪神淡路大震災、東日本大震災)の揺れを体験しました。始めは、震度2ぐらいの揺れで、「揺れてんの? 感じないよ。」と言って笑っていた児童が、震度5以上になると机の下に入

って足を持っていても飛び出しそうになるぐらいの揺れで驚いていました。

同じ震度7以上でも阪神淡路大震災と東日本大震災では、全く違うことも分かりました。東日本大震災は、2分以上も揺れが続き、その後大きな津波が来ました。改めてその大変さが分かりました。先週は、九州北部で記録的豪雨のため大きな災害が起こっています。いつ自分たちの身近なところで起こるか分かりません。そのために日頃から訓練をしたり、意識して準備したりすることの大切さを学んだ時間でした。「釜石の奇跡」のように、自分のことだけでなく、小さな子やお年寄りのことも考えて行動できる人になって欲しいと思います。



★お盆期間中(8月14日~16日)の学校閉庁日について★

この期間14日(月)~16日(水)を、夏の省エネルギー対策を行うとともに、教職員の心身のリフレッシュと休暇取得促進を図るために、学校閉庁日(職員は勤務しません。校舎等施設は閉鎖します)とします。ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

尚、緊急時の連絡は、**市教育委員会(77-7011)**をお願いいたします。